

交通規則

いつ、どこで、どれくらいの速度で運転できるかを示す交通規則があり、交通安全の維持に役立っています。このような規則には、交通管理装置、通行優先権、駐車規則などがあります。

交通管理装置

交通管理装置には、信号、標識、車道上のマーク、ラウンドアバウトなどがあります。法執行機関、ハイウェイ道路工事作業員または整備作業員、学校横断監視員なども交通管理を行なうので、このような人員の指示に従わなければなりません。

信号が故障している場合には、止まって、四方一旦停止の場合と同じように、通行権を譲らなければなりません。安全が確認できた時だけ、または警察官、消防士、交通誘導員などの指示がある時にだけ進みます。

信号

信号は、いつ、どこで停止し、進行できるかを示す電灯です。青信号では、安全であれば進行できます。黄色の信号は注意を意味し、赤信号は停止を意味します。

通常、信号は交差点にあり、上から下へ、または左から右に向かって赤、黄、青の順になっています。場所によっては、青、黄、赤の信号が1つだけある所もあります。

点滅しない青信号では、交差点へ進入できますが、緊急車両やその他法律で義務づけられている車両には、通行権を譲らなければなりません。停止していて、信号が青になったら、進入は、交差点内の車両が通過するまで待たなければなりません。青の矢印は、矢印の方向に、安全に左折または右折できることを示します。青の矢印の時には、対向車や交差する車両はないはずですが、左折する場合は、点滅しない青信号では安全を確認してからのみ、左折してかまいません。対向車に通行優先権があります。左折禁止の標識に注意してください。左折/右折どちらの場合で

も、あなたの車両の車を横断する歩行者に注意します。あなたの走行道路上（道路幅の半分で、あなたが走行している側）および、あなたの走行道路から 1 車線以内を歩行者が横断中であれば、停止しなければなりません。

点滅しない**黄色の信号**は、信号がまもなく赤に変わることを示します。安全に停止できるなら、停止しなければなりません。交差点に進入して信号が黄色になったら、停止せず通過しなければなりません。**点滅する黄色の信号**は、減速して注意しながら進行することを意味します。**黄色の矢印**は青の矢印が間もなく消えることを意味し、矢印の方向に曲がる場合は停止の用意をし、曲がる前に対向車に通行権を譲ってください。

点滅しない**赤信号**は、停止を意味します。信号が青に変わるまで待たなければなりません。青に変わり、交差する車両がなくなれば、交差点に進入してかまいません。右折する場合は、赤信号での右折禁止の標識がなければ、一旦完全に停止し、安全を確認して、右折してかまいません。また、道路の交通が左へ流れる一方通行の道へ左折する場合は、赤信号での左折禁止の標識がなければ、一旦完全に停止し、安全を確認して、左折してかまいません。あなたの車両の車を横断する歩行者に注意します。**点滅する赤信号**は一旦停止の標識と同じです。一旦完全に停止しなければなりません。停止後、安全を確認してから進入してかまいません。**赤の矢印**は、停止しなければならないこと、またその矢印の方向に進入できないことを示します。赤の矢印が消え、青の矢印または青信号に変わると進入してかまいません。右折する場合は、赤の矢印での右折禁止の標識がなければ、一旦完全に停止し、安全を確認して、右折してかまいません。また、道路の交通が左へ流れる一方通行の道へ左折する場合は、赤の矢印での左折禁止の標識がなければ、一旦完全に停止し、安全を確認して、左折してかまいません。

交通標識

交通標識は交通規則、危険、現在地、目的地への行き方やさまざまなサービスの場所などを示します。標識の形と色によってその情報の種類を識別できます。このガイドブックの表紙の内側には、よく見る標識の形と色が載っています。

警告標識 - 通常この標識は黄色で、黒の文字またはシンボルが記されており、ほとんどがダイヤモンド型をしています。これらの標識は、減速したり、必要なら停止の準備をするよう促します。標識は、前方の急カーブ、特殊な状況、危険を警告します。よく見る標識は次のとおりです。



十字路



前方に一旦停止あり



合流



両方向道路



前方にゆずれ標識あり



右車線終わり
左車線に合流せよ



事前に警告：
自転車に注意



歩行者横断



児童横断



分離ハイウェイ
(道路) 始まり



分離ハイウェイ
(道路) 終わり



車線が増える
(右側より合流の必要なし)



濡れると
滑りやすい



右側急カーブ



急な下り坂

踏切の警告標識 - ほとんどの踏切では、ドライバーに警告を与える標識や信号があります。接近してくる電車の前を通り抜けようとしてはなりません。踏切の向こう側に十分なスペースがなかったり、踏切内で停止しなければならなくなるような場合は、踏切を渡り始めてはいけません。踏切の向こう側に渡りきれぬ十分なスペースができるまで待ちます。踏切横断中には、エンストを起こすかもしれないので、ギアをシフトしない方が賢明です。電車は大型で、見た目よりも実際の速度は速いかもしれないことを覚えておいてください。よく見る踏切の標識と信号を下に示します。

- X のシンボルと黒字で RR と記されている丸型の黄色い警告標識は、踏切の手前の道路脇にあります。
- 白の X 型の標識又は標識板で「Railroad Crossing」（「踏切あり」）と記されている標識は、踏切にあります。これは「ゆずれ」と同じ意味で、道路を横断する電車に通行権を譲らなければなりません。



- 踏切によっては標識板のほか、電車が踏切に接近している時に交互に点滅する、並んで付いている赤信号があります。信号が点滅しているときは、停止しなければなりません。また、電車が接近している時に遮断機が降りる踏切もあります。遮断機の横を摺り抜けて、踏切を渡ってはいけません。ベルや警笛の鳴る踏切もありますが、ベルなどが鳴り止むまで通過してはいけません。
- 複線の踏切では、線路の数を示す標識がよくあります。このような標識は、複線があり、複数の電車が通る可能性があることを警告しています。

複線の踏切でもこのような標識がないところもありますから、
渡る前に複線かどうか確認することが大切です。

低速度車両の標識 - 車両の後部に反射するオレンジ色の三角形がついていると、その車両は時速25マイル以下で走行していることを示します。工事用車両や、田園地帯では農耕用車両、または馬が引くワゴンや四輪馬車などに見られます。



工事の標識 - 工事、メンテナンス、緊急作業の標識は、通常ダイヤモンド型または長方形で、オレンジ色に黒い文字またはシンボルが記されており、路上または道路脇に作業者がいることを警告します。このような標識には、減速、迂回、低速走行の車両が前方を走っている、路上状態が悪い、または道路表面の状態が突然変わることなどの警告があります。工事現場では標識や旗を持った者が交通整理をするところもあり、その指示に従って通行しなければなりません。車両ドライバーは、ハイウェイの道路工事区間または整備作業区間内では、いかなるハイウェイ道路工事作業員、黄色のライトが点滅している車両、あるいは設備に対して、道を譲らなければなりません。作業員が存在する工事中の区間で違反があった場合、罰金は2倍になります。

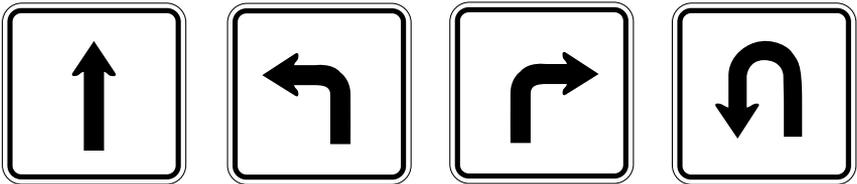
規制標識 - この標識は正方形、長方形、または特殊な形をしており、通常、白、赤、黒の地に黒、赤、白、または緑の文字またはシンボルが記されています。交通の流れる方向、車線の使用方法、右折/左折、速度、駐車やその他の特殊な状況に関する規制を示します。

中にはシンボルの上に赤で斜線の引いてある赤い輪の標識がありますが、これは左折禁止、右折禁止、Uターン禁止など一定の禁止行為を示すものです。



よく見る規制標識には次のようなものがあります。

- **速度制限の標識** - 安全な最高速度または最低速度を指示します。最高制限速度は、理想的な運転状況でのみ実施し、状況の変化に従って必要なら減速しなければなりません。たとえば、雨、雪や氷などで路上が滑りやすいとき、霧が出て視界が悪いときなどは減速すべきです。制限速度の高い道路では最低制限速度を示すところもあるので、他のドライバーにとって危険な状況にならないよう、遅くともその最低速度で走行する必要があります。標識で示される最低速度が速すぎるのであれば、他の道路を通ります。
- **制限速度の低い区域が前方にありの標識** - 前方では制限速度が低くなっているので減速するよう指示しています。
- **車線使用管理標識** - 走行してよいところや右折/左折のできることを、たいてい矢印で示しています。この標識は道路脇か、走行している車線の頭上に掲げてあります。標識に加えて、路上にペンキで矢印が示されているところもあります。



- **追い越し禁止の標識** - 追い越し禁止区域を示します。追い越しの可能なところは、先がどれだけ良く見えるかによります。坂やカーブ、交差点、ドライブウェイ、その他の場所で道路に進入する車両のあるところなど、先に見えない危険がある場所を考慮しています。この標識と路上のマークで、追い越しのできる場所、追い越し

区域の始まりと終わり、または追い越し禁止区域を示します。追い越しの許可されている区域でも、安全に追い越せる場合のみ追い越しを行い、その際、路面状況や他の車両に注意を払います。三角形の追い越し禁止の標識もあります。どちらも黄色またはオレンジ色で、道路の左側にあります。



- **一旦停止の標識** - 八角形で赤に白い字が書いてあります。一旦停止の標識があるところでは、白線マークで、白線がない場合は横断歩道の手前で、横断歩道がない場合は接近してくる車両が見える交差点に最も近い地点で、完全に一旦停止する必要があります。通過する車両や歩行者がいなくなって、安全に車を発進できるまで待たなければなりません。
- **ゆずれの標識** - これは、赤と白の逆三角形で、赤い文字が書いてあります。横断または進入しようとする道路で、減速して他の車両を優先しなければなりません。
- **進入禁止の標識** - 形は正方形で、赤い丸の内側に白の横線があるこの標識は、進入禁止を示します。誤った方向に進入してしまう可能性のあるフリーウェーなどの出口ランプ、分離帯のある道路の交差点、一方通行道路の多くの箇所など、進入してはいけない道路の開口部に掲げてあります。

- **障害者用駐車区画の標識** - 白い長方形の中に緑色の文字が記された標識と、青地に白で国際的に共通する身体障害者のシンボルマークが記された標識は、ビジネスや店舗などの特別駐車区画を示します。障害者駐車プラカードまたはナンバープレートがないと、この区画に駐車できません。必要なプラカードまたはプレートを付けずにこのような区画に駐車したり、駐車区画の横にある、身体障害者のために設けられたアクセス通路をさえぎると、罰金 250 ドルが課せられます。
- **悪走路情報の標識** - 長方形で白地に黒の文字があります。チェーンが必要な時期を知らせるものです。チェーン装着が義務付けられている際にそれを怠った場合、500 ドルの罰金が科せられます。

よく見るガイド標識は次の通りです。

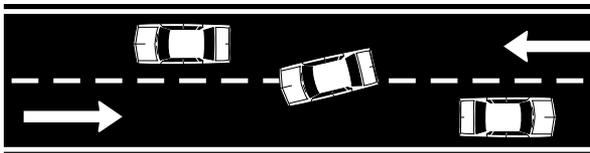
- **目的地の標識** - 正方形または長方形で、緑または茶色の地に白い文字が記されています。市、空港、州境界線、または国立公園、史跡、美術館/博物館などの特殊な地域など、さまざまな場所までの道順と距離を示します。
- **サービス標識** - これらの標識は正方形または長方形で、青色または茶色の地に白い文字またはシンボルマークが記されています。休憩用エリアやガソリンスタンド、キャンプ用地または病院などの場所を示します。
- **幹線道路番号の標識** - 幹線道路番号の標識の形と色により、インターステート（州連結高速道路）、国道、州道、市道、または郡道という道路の種類を示します。旅行を計画するにあたって、ロードマップを見てルートを決定してください。旅行中は迷わないように幹線道路番号の標識に従ってください。

車道上のマーク

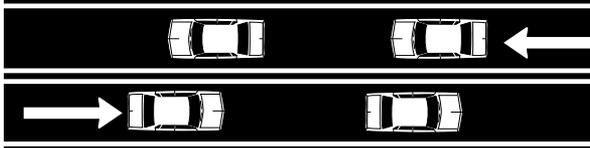
車道上の線やシンボルは、車線を分割したり、追い越しあるいは車線変更をしてよいか、右折 / 左折の車線はどれか、標識または信号で停止するべきところ、歩道などを示します。

路端線と車線 - 車道の路端に沿った実線は、車道または車線の端を示します。

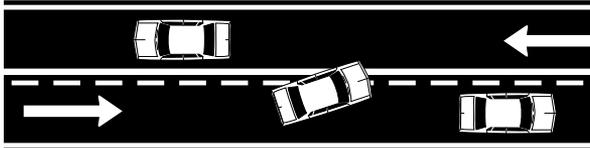
- 白線のマーク - 白の実線は両方向道路の両端を示し、また、一方通行道路の右端を示します。路端線の右側を超えて運転してはいけません。車線間の白の破線は、その破線を越えて安全に車線変更できる場合は車線変更してもよいということを示します。車線間の白の実線は、特別な状況により、車線変更が必要にならない限り、同じ車線にとどまらなければならないことを示します。
- 黄色い線のマーク - 黄色の実線は、逆方向に流れる交通を分割し、また、一方通行道路の左端を示します。対向車線を分割する黄色の破線は、その線を越えて安全に追い越しできる場合には、追い越しを行なってよいことを示します。追い越し区域には、追い越しの許可された箇所、追い越し禁止の箇所を示す標識を掲げているところがあります。黄色の実線と破線の両方で対向車線を分割してあるときは、あなたの側に実線があれば追い越しできません。



黄色の破線 - 安全を確認してから、どの車両も追い越しを行なってよい。



黄色の実線 - 追い越し禁止。



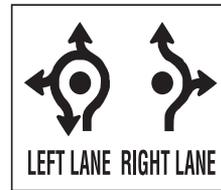
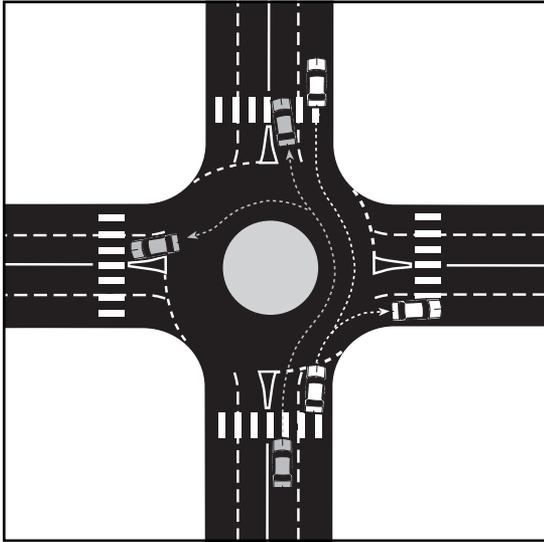
黄色の実線と破線 - 安全を確認してから、破線のある側の車両は追い越しを行なってよい。

破線があなたの側にあつて追い越しゾーンにいる場合は、安全を確認してから追い越してもかまいませんが、追い越しゾーンが終わるまでに自分の車線に戻らなければなりません。車線が黄色の実線2本で分割されているときは、どちら側も追い越しできないことを示します。左折する場合は、中央分離帯を除き、安全を確認してから黄色の実線を越えてもかまいません。

- **中央分離帯** - 2本以上の道路に分割されているハイウェイでは、中央のスペース内を、通行したり横切ったりすることは禁止されています。この分離帯は、スペースのみで境界障害物なし、ハイウェイ分離帯、または島状の中央分離帯となっている箇所と、18インチの黄色い実線が車道上にマークしてある箇所、または黄色い実線2本の間に黄色の平行線模様がマークしてある箇所があります。
- **横断歩道と一旦停止線** - 標識や信号のため停止する必要があるとき、一旦停止線の前、または横断歩道があればその前に、必ず停止しなければなりません。横断歩道は歩行者が車道を横断してよい区域です。横断歩道を横断中または渡ろうとしている歩行者がいれば、通行権を譲らなければなりません。中には、横断する歩行者によって作動するライトが埋め込まれた横断歩道もあります。このライトが点滅している際には停止しなければなりません。印の付いていない横断歩道もありますから、交差点を通過するとき、右折／左折のときは歩行者によく注意してください。
- **その他の交通管理装置** - 住宅地において減速や衝突事故低減のために使用される交通管理装置があります。このような装置にはさまざまな形状のものがあります。減速バンプ、縁石で道幅を狭めるようにしたもの、または交差点中央の円形の島など、このような装置を通過する場合は必ず減速し、指示がない限り右側通行します。

ラウンドアバウト

ラウンドアバウトは、車両に島になった部分の周囲を通行させる交差点管理装置です。これに接近する車両は、必ずサークル内の交通を優先します。また、規則に従って道路を横断している歩行者や自転車を常に優先します。サークル内は常に右方向に運転します。

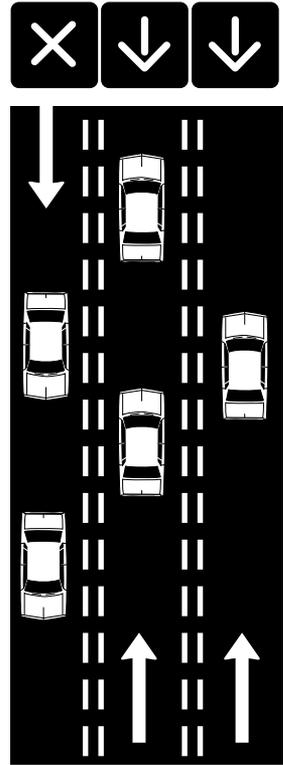


ラウンドアバウトでの運転のしかた

1. 交差点に接近するとともに減速します。ラウンドアバウトは時速 15～20 マイル用に作られています。
2. 交通の流れが途絶えたところで、ラウンドアバウトに入ります。中に入ったら停止してはいけません。どのレーンを走行するかは、標識または車道上のマークに従ってください。
3. どの通りにも出てもかまいませんし、出損じたらもう一度回ってきます。

リバーシブル車線

車線には、特定の時間帯に一定方向に交通が流れ、その他の時間帯には逆方向に交通が流れるように管理されている車線があります。通常、このような車線は二重の黄色い破線でマークしてあります。このような車線を走行する前に、その時間帯にどの車線を使用できるかを確認してください。道路脇、または頭上に標識があったり、特殊な信号もよく使用されています。青の矢印は、その下の車線は走行可能を表示し、赤の「X」はその下の車線は走行禁止であることを示します。点滅する黄色の「X」は、右折または左折専用であることを示します。点滅しない黄色の「X」では、その車線の走行方向がまもなく変わるため、すばやく安全にその車線から出なければなりません。



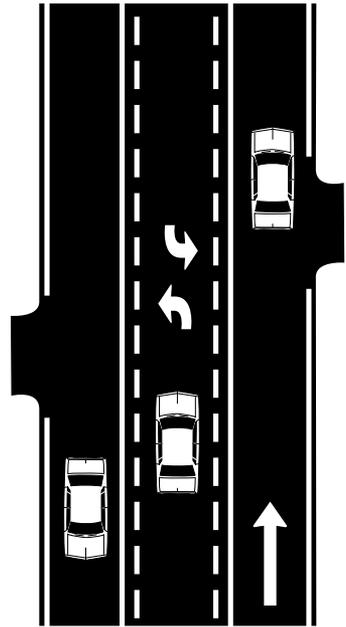
専用車線

種々の道路で、1車線以上を特殊車両のために保留してあるところがあります。専用になっている車線は、特殊な目的のために保留してあることを、標識で示してあります。このような車線は、たいていは道路脇にダイヤモンド型の白い標識があるか、路面にペンキでマークしてあります。

- 「Transit」または「bus」はバス専用です。
- 「Bicycle」は自転車専用です。
- 「HOV (High Occupancy Vehicles)」は、乗車人数の多い車両用で2人以上乗車している車両用に保留してあります。標識には必要な乗車人数と、この規制が該当する曜日および時間帯を示してあります。たとえば、「HOV 3」は1台に3人乗車していなければなりません。

両方向道路での左折車線

この車線はどちらの方向からでも左折して車線から出たり、または車線に入るためのもの（または許可されていればUターン用）です。この車線は追い越し用には使えません。また、300 フィート以上は走行できません。車道上に一方方向からの車両の左折用矢印がマークしてあり、その向こうに逆方向から来る車両の左折用矢印がマークしてあります。この車線は、黄色の実線と破線で左右の端がそれぞれマークしてあります。安全を確認してから進入してください。



一般的な規則

運転一般 - バック（後進） するときには、よく見て、ゆっくりとバックします。他の車のドライバーは前を走行していた車が走行中にバックするとは思いませんし、手後れになるまで気づかないかもしれません。右折 / 左折する箇所や出口を通り過ぎたときは、バックするのではなく、次の曲がり角や出口まで進むか、安全に逆もどりできる場所まで進みます。路肩やフリーウェーでバックすることは違法です。

走行中の車線でいかなる理由（道がわからなくなった、車両が故障した、同乗者を車から降ろす）があっても、停止してはいけません。そのまま進んで道路脇に安全に停止します。

ワシントン州では、許可する標識のない限り、フリーウェーなどの制限のある道路でヒッチハイクをしたり、ヒッチハイカーを自分の車に乗せたりすることは法律で禁じられています。車両が走行中の道路の脇に安全に停止できないようなハイウェイ上 / 脇や、その他の道路上 / 脇にはヒッチハイカーは立つことはできません。

2車線の両方向道路では、合法的な追い越しをするとき以外は、右側の車線を走行しなければいけません。

一方向に2車線以上ある道路では、追い越しをしない限りは右側の車線を走行します。一方向に3車線以上ある道路では、外部から進入、または外部へ出る車両が多ければ、中央の車線を走行します。

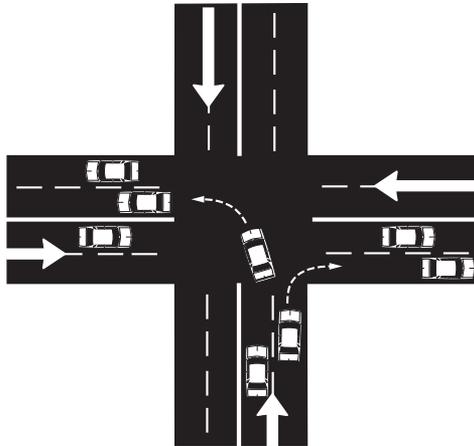
道路交通制御員または標識による指示がない限り、路肩を走行してはいけません。

追い越し - 同じ方向に向かう2車線道路では、左側の車線は低速走行する車両の追い越しに使用します。同じ方向に向かう複数車線道路では、一番右側の車線は低速走行する車両、中央の数車線は高速走行する車両が使用し、一番左側の車線は追い越しのみに使用します。右側の車線で追い越すと、ドライバーから良く見えず、あなたの前で急に車線を変更するかもしれません。路肩が舗装されている、いないに拘わらず、路肩を使った追い越しは、決してしてはいけません。他のドライバーは、路肩にあなたがいるとは思わず、確認せずに突然路肩に車を寄せることがあります。

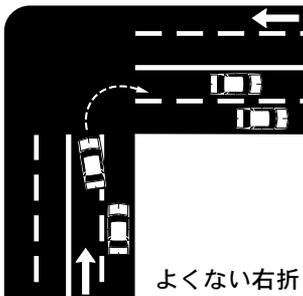
出入り制限があり、一方向に3車線以上ある道路では、許可する標識がない限り、トレーラーを牽引する車両または10,000ポンド以上の車両は左側の車線を走行できませんが、HOV車線は使用してもかまいません。

海浜での運転 - Grays Harbor郡およびPacific郡では海浜を走行してもよいことになっています。この海浜は州内ハイウェイとみなされているため、道路、車両登録、運転免許証に関する規則がすべて該当します。制限速度は時速25マイルで、通行優先権は常に歩行者にあります。マークの付いた専用進入路からのみ、この海浜に進入できます。また、砂を押し固めた部分しか走行できません。海浜閉鎖や、臨時に海浜での運転禁止を示す標識に注意してください。

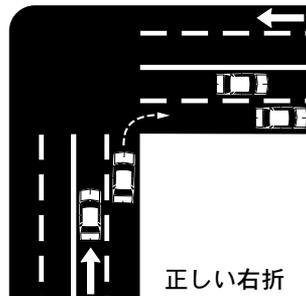
右折 / 左折 - 右折や左折を管理する標識や、車線マークがないところでは、行きたい方向に最も近い車線から、その車線に最も近い車線に進入できるよう右折 / 左折を行ないます。このようにすると、超える車線の数が最少ですみます。右折 / 左折を行なう際は、他の車線のラインを越えたり、交通の流れを妨げたりしないで、できるだけ車線から車線へ直接進入します。右折 / 左折を終えた後に、必要なら車線を変更してもかまいません。



- 右折。右折の際は、カーブする前に左側に大きく曲がることを避けます。このような右折では、後続車のドライバーはあなたが車線変更するか、あるいは左折をしようと思えば、右側からあなたを追い越そうとするかもしれません。右折し終わる時に遠い方の車線へ入ると、その車線を走行するドライバーは、あなたがそこに居ると思わないかもしれず、危険です。



よくない右折



正しい右折

- 左折。左折の際に、ハンドルを切るのが早すぎると、対向車線に入る恐れがあるので、それは避けます。逆に、あなたの前で左折する対向車に衝突しないよう、十分スペースを取ります。
- 複数の左折/右折車線。2車線以上の車線で右折/左折できることを示す標識やマークがあるところでは、車線変更をせずに、右折/左折を行ないます。
- Uターン。Uターンは、安全にできるときにだけ行います。カーブや、坂道の一番上に近づいたとき、他の人からあなたの車が見えないときには、Uターンしてはいけません。市や町によってはUターンが禁止になっています。最寄りの警察に確認してください。

通行権

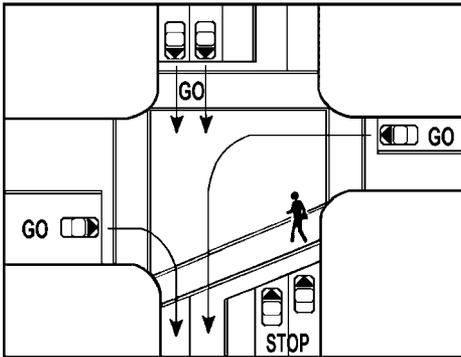
他の車両や歩行者、自転車が安全に通過できるよう、減速したり、停止しなければならない状況がよく発生するでしょう。交通を規制する標識や信号がなくても、誰が通行権を譲らなければならない側にあるかを決定する法律があります。

法律により、誰が通行権を譲るべきかが規制されていますが、誰でもよいから譲るというものではありません。状況に関わらず、歩行者あるいは車椅子に乗っている通行者、または他の車両に衝突するのを避けなければなりません。

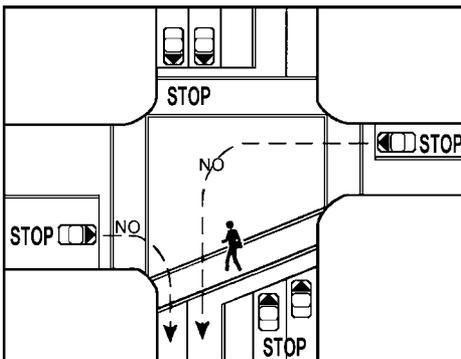
歩行者は、自分自身の安全のため、交通の流れに対向して、道路脇を歩きます。ドライバーは歩行者が道路に出てくるかもしれない場合に備えて、道を譲る準備をしておきます。

交差点では、次の通行権の規則が該当します。

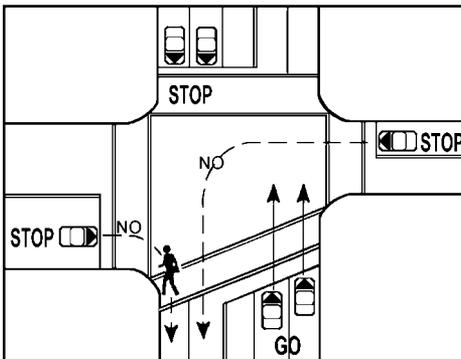
- 横断歩道のマークが路上に書かれている、いないにかかわらず、横断歩道や交差点では、歩行者や自転車に通行権があります。横断している歩行者や自転車に衝突しないよう、必要であれば通行権を譲らなければなりません。



- あなたの走行道路上（道路幅の半分で、あなたが走行している側）を横断中の歩行者や自転車がいたら、停止しなければなりません。



- あなたの走行道路から1車線以内に、歩行者や自転車がいる場合は、停止しなければなりません。



- あなたの走行道路から1車線以上向こう側に、歩行者や自転車がいる場合は進行できます。

- ドライブウェー、路地、または駐車場への出入りの際に歩道を横切る時は、必ず一旦停止し、歩行者に通行権を譲らなければなりません。そのような出入り以外は、歩道を走行するのは交通違反です。
- 盲導犬や介助動物を連れていたり、白い杖を使用している歩行者には、絶対通行権があります。盲導犬や介助動物の邪魔をしたり、気を散らすことは違法行為です。歩行者や盲導犬、介助動物を混乱させたり驚かしてしまうため、クラクションは鳴らしてはいけません。
- 左折する際は、対向車、歩行者、自転車に通行権を譲らなければなりません。
- ラウンドアバウトに進入するドライバーは、すでにラウンドアバウト内を走行しているドライバーに通行権を譲らなければなりません。
- 一旦停止の標識、ゆずれの標識、あるいは信号のない交差点では、ドライバーは交差点内の車両および右側から進入してくる車両に通行権を譲ります。
- 四方一旦停止では、交差点に最初に到達したドライバーが最初に交差点に進入します（一旦停止した後）。同時に2台以上の車両が交差点に到達した場合は、右側の車両から先に進入します。
- ドライブウェー、路地、駐車場、道路脇から道路へ進入するドライバーは、その道路をすでに走行中の車両に通行権を譲らなければなりません。
- 交差点を通過する途中で停止することになりそうな場合は、ドライバーは交差点に決して進入してはいけません。交差点の通行を妨げないように、前方の車両が走行してしまうまで待ちます。
- 同じ方向に走行中の車両を追い越す場合は、その車両が突然左折／右折したり、スピードを落としたり、停止したりする場合に備えて、通行権を譲る準備をしなければなりません。
- 道路を横断中の電車に通行権を譲らなければなりません。

- パトロールカー、消防車、救急車、またはサイレン、エアホーン、赤あるいは青のライトが点滅しているその他の緊急車両に、通行権を譲らなければなりません。どの方向からでも緊急車両の接近が見えたり、サイレンなどが聞こえた場合は、速やかに道路の右端、またはできるだけ右側に近いところに車両を寄せ、停止します。交差点を通行中の場合は、交差点を渡りきってから停止してください。信号が赤の場合はそのまま動かずにいます。緊急車両のスピーカーから指示が聞こえたら、それに従います。
- 赤いライトを点滅してスクールバスが停車している場合は、スクールバスがあなたの車線、反対車線、または進行方向の交差点で停車していた場合でも、停止しなければなりません。ただし、赤いライトを点滅して停車中のスクールバスが反対車線にあり、道路が次の条件に該当する場合は、停止の必要はありません。
 - 3車線以上ある道路
 - 中央分離帯がある、または
 - 柵などで物理的に分離されている。

スクールバスの赤いライトの点滅が止まったら、沿道にいる子供に注意し、子供たちが完全に道路から離れたのを確認するまで発車してはいけません。

- どのような種類の輸送機関車両（バス）であっても、方向指示器を出して道路にもどろうとしている場合は、その車両に道を譲らなければなりません。



駐車

ドライバーには、駐車した車両が危険な状況を起こさないよう確認する責任があります。駐車の際は、常にあなたの車両が交通の流れの邪魔にならないよう、車両が走行する車線から十分離れた場所、かつどちらの方向からでも良く見える場所に駐車してあることを確認します。

- 常に、できるだけ駐車用のエリアに駐車するようにします。
- 駐車するときは、常にサイドブレーキをかけます。マニュアルトランスミッションの車両はギアが入っている状態にし、オートマチックの車両は「パーキング」の状態にします。
- ドアを開ける前に、必ず他の車両に注意し、できれば歩道側に出るようにします。車道側に出なければならないときは、出る前に他の車両が接近していないか確認します。また、外に出たらすぐにドアを閉めます。
- イグニッションキーを、駐車中の車内に残してはいけません。車両から離れるときは、いつでもドアをロックします。
- 16歳未満の子供だけをエンジンのかかった車の中に残すのは、違法です。
- 車道上に駐車する場合は、走行する車両からできるだけ離れたところに駐車します。歩道があれば、できるだけ歩道の縁石に近いところに駐車します。

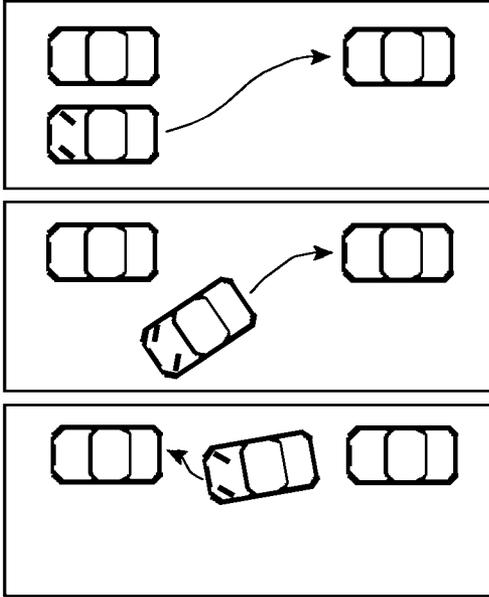
坂道での駐車

坂道で駐車するときは：

- 歩道の縁がある上り坂では、サイドブレーキをかけ、歩道の縁の反対側にハンドルを切ります。こうしておけば、万一車両が動いても、歩道の縁に向かって動きます。
- 下り坂では、サイドブレーキをかけ、歩道の縁に向けてハンドルを切ります。
- 歩道の縁のない坂道では、サイドブレーキをかけ、歩道の縁があるときと同じ方向にハンドルを切ります。こうしておけば、万一車両が動いても、通行する車と反対の方に動きます。

縦列駐車

縦列駐車するときは、歩道から 12 インチ以内のところに駐車します。次のステップに従って、縦列駐車を行ないます。



- 前に止まっている車両と並んで停止します。ハンドルを大きく右に切り、後ろの車両に向かってゆっくりバックします。
- 前の車両が障害にならないところまで来たら、ハンドルを大きく左に切り、後ろの車両に向かってゆっくりバックします。
- ハンドルを大きく右に切り、歩道の縁に向かって動かし、駐車するスペースの中央に入るようにします。

駐車禁止ゾーン - 駐車禁止のエリアは多数ありますから、駐車禁止または駐車制限の標識に注意します。歩道の縁に塗ったペンキの色で駐車制限を示すところもあります。次の場所には駐車してはいけません。

- 交差点内
- 横断歩道の上、または歩道の上
- あなたの車両が、交通の妨げになるような道路工事現場
- 信号、一旦停止標識、またはゆずれの標識から 30 フィート以内
- 歩行者安全区域から 20 フィート以内
- 消火栓から 15 フィート以内

- 踏切から 50 フィート以内
- 歩道の縁石から 12 インチを超えるところ
- 消防署のドライブウェイと同じ側にいる場合はそこから 20 フィート以内、あるいは反対側にいる場合は 75 フィート以内
- ドライブウェイ、路地、私道、または歩道の縁石を取り除いてあるか歩道との段差をなくしてあるエリアから 5 フィート以内
- 橋、高架の上、トンネルの中、あるいは高架の下
- 反対方向の車道
- 障害者ナンバープレートまたはプラカードを所持していない限り、障害者用にマークしてあるスペース
- すでに駐車してある車両の道路側の横（二重駐車）
- 線路上
- フリーウェイの路肩（非常時は除く）
- その他駐車禁止標識のある場所すべて

その他の駐車制限は、標識や歩道の縁のペンキの色で示してある所もあります。

- 白 - 短時間駐車のみ可能
- 黄色または赤 - 貨物積み下ろし用、またはその他の制限